


教育課程研究協議会【道徳部会】 岐阜県教育委員会

**「見方・考え方」を働かせて
資質・能力を育成する
各教科等の授業改善**
～ICT(1人1台端末)の有効な活用を通して～

2 道徳部会全体説明

- ①道徳科におけるカリキュラム・マネジメント
- ②道徳科の指導と授業改善
道徳科の指導におけるICT活用
- ③道徳科の評価



【小学校】7月28日(木) PM
【中学校】7月15日(金) PM

**「主体的・対話的で深い学び」
の実現**

↓
深い学びの鍵

**「見方・考え方」
を働かせる**

「見方・考え方」とは

各教科の「見方・考え方」は、
「どのような視点で物事を捉え、ど
のような考え方で思考していくの
か」というその教科ならではの物事
を捉える視点や考え方である。各教
科を学ぶ本質的な意義の中核をなす
もの・・・(略)。
「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編」

道徳科における「見方・考え方」とは

様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。

〔幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）平成28年12月21日〕

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

※道徳科の目標より一部抜粋 ※（ ）は中学校

この学習活動を
しっかり捉え学ぶことが
道徳科において
「見方・考え方」を
働かせること。



令和4年度 教育課程研究協議会【道徳部会】

部会全体説明①

「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」

【小学校】7月28日（木）PM
【中学校】7月15日（金）PM
岐阜県教育委員会

部会全体説明①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」

○県内の子供たちを取り巻く状況

- ・暴力行為の増加
小学校急増
…R1は前年より391件増、中学校…36件増
- ・いじめ認知件数の増加
※小学校…R1は1,875件増、中学校…656件増
- ・不登校児童生徒数の増加（小中で3,044人）
※1,000人当たりの不登校数、
小学校…R1：8.7人（H31：7.8人）
中学校…R1：38.2人（H31：37.2人）

○今、求められる道徳教育

- ・ 困難な問題に主体的に対処することのできる実効性ある力を育成していく
- ・ 事象を深く見詰め、自分はどうか、自分に何ができるかを判断し、実行できる手立てを考え、実践できるようにしていく



<内容>

- 1 道徳教育の重点目標の明確化
- 2 重点内容項目の設定
- 3 教育活動全体で行う道徳教育の実施
- 4 道徳教育の全体計画及び別葉の作成・活用・見直し

1 道徳教育の重点目標の明確化

Q 皆さんの学校では、児童生徒にどんな力を付けたいとお考えですか。

1 道徳教育の重点目標の明確化

学校における道徳教育は、特別な教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達段階を考慮して、適切な指導を行わなければならない。

（「第1章 総則」より抜粋）

1 道徳教育の重点目標の明確化

教育活動全体を通して道徳性を養う指導



2 重点内容項目の設定

例：小学校

学校の教育目標

あかるく なかよく たくましく

学校で育成を目指す児童生徒像

- ・笑顔で挨拶ができ、約束やきまりが守れる子
- ・思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子
- ・夢や希望に向かって、粘り強くやりぬく子

重点内容項目

「C規則の尊重」「B親切、思いやり」
「C希望と勇気、努力と強い意志」

3 教育活動全体で行う道徳教育の実施

イ 学習活動や学習態度への配慮



話し合いの中で自分の考えを発表する。

仲間の発言に耳を傾ける。

望ましい道徳性を育てることにつながります。

協働して課題に最後まで取り組む。

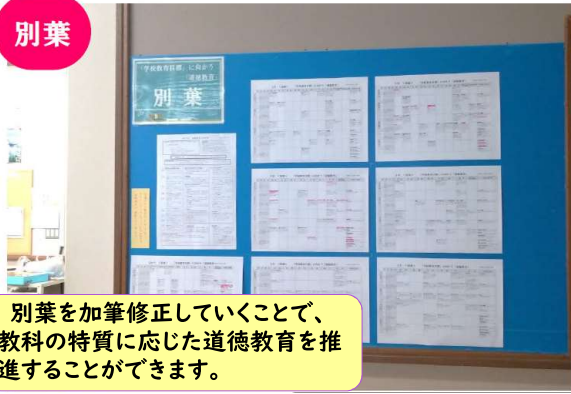
4 道徳教育の全体計画及び別業の作成・活用・見直し

道徳教育の全体計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、児童、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、第2に示す道徳の内容との関連を踏まえた各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示す必要があること。
(「第1章 総則」より抜粋)

指導内容と指導時期を明示する必要があります。

4 道徳教育の全体計画及び別業の作成・活用・見直し

別業



別業を加筆修正していくことで、教科の特質に応じた道徳教育を推進することができます。
